

岡大医人 第59号
令和 8年 7月24日

各大学医学部長 殿
各医科大学長 殿
各医学研究機関の長 殿

岡山大学学術研究院医歯薬学域長

成瀬 恵 治
(公印省略)

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科医歯薬学専攻医学系講座
生理学分野（現行名称：細胞生理学分野）担当教授候補者の
公募について（依頼）

この度、岡山大学学術研究院医歯薬学域では、生理学分野（現行名称：細胞生理学分野）担当教授の公募を下記のとおり行うこととなりました。

本学は研究大学を目指しており、今回募集する教授には、神経生理に限らず広い範囲の生理機能に関わる優れた先端的研究を行っている方で、いずれも国際的に卓越した学内外での研究を推進でき、大学院での精力的な研究指導を行える方を求めています。当該領域での大学院生の指導のほか、学部教育として生理学の講義・実習を担当していただきますが、他分野と連携しながら医学教育全般に貢献することも求めています。

つきましては、貴学・貴学部・貴研究機関及び関係機関で適任者がいらっしゃいましたら、令和8年9月11日（金）17時（必着）までに別紙に示す必要書類を添えて御推薦くださいますようお願いいたします。

記

1. 求める人物像

細胞生理学分野の教授に選考すべき人物像として、脳・神経系の機能（感覚、運動、高次機能、睡眠、記憶、神経回路など）を対象とする「神経調節系」、もしくは循環・呼吸・消化・代謝・内分泌・筋骨格系など、体液シグナルを介した全身臓器の調節システムを扱う「体液調節系」のいずれかにおいて、現在の医学にパラダイムシフトをもたらすような、生理機能に関わる優れた先端的研究を行っている人物を求めます。また学内の基礎系分野や臨床系分野と連携した研究展開や、次世代研究群や未来医療創発研究所との連携により、相乗効果が期待できる研究を志向する人物を求めます。

教育においては、システム生理学分野と協力して生理学の実習と講義を行い、分野間のみならず、医学部保健学科・歯学部・薬学部を含めた大学全体の生理学教育との連携を強化し、医学教育の水平的・垂直的統合に向けた明確なビジョンにより、効果的な教育体制を構築できる人物を求めます。大学院教育においては、関連分野との「ユニット」形成による臨床系分野との研究交流や、研究医やフィジシャン・サイエンティストの育成にも積

極的に取り組む姿勢が求められます。

以上のように、細胞生理学分野の教授として、幅広い生理学の領域を包括的に捉え、研究・教育体制を新たに構築する取り組みを行い、岡山大学を研究大学として発展させることができる能力をもつ人物を選考する方針です。

2. 応募資格等

次の各号に掲げる基準を満たす者とします。

- (1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有する者
- (2) 大学卒業後、関連分野の教育又は研究に従事した期間が10年以上ある者
- (3) 英語により講義を行うことができる能力を有する者

3. 応募書類等 別紙のとおり

4. 採用予定日 令和9年4月1日（予定）

5. その他

- (1) 選考の過程において、面接を行う場合がありますので、予め御承知お願いします。
- (2) 申請関連書類は、本学大学院医歯薬学総合研究科のホームページの他、UMIN と JREC-IN のホームページにも公開しています。
- (3) 本選考による採用者は、学術研究院医歯薬学域に所属し、テニユア・トラック制等による任期の定めはありません。また、国立大学法人岡山大学年俸制適用職員給与規則により、年俸制が適用されます。

【本学年俸制制度に係る規則等の掲載場所】

岡山大学公式HP－社会人・地域の方－教職員募集情報－教育職員－教育職員募集情報
<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/society/boshyu-kyoiku.html>

- (4) 教授就任後は、担当分野名の名称変更及び担当分野に教員2名を採用することが可能です。
- (5) 岡山大学では、男女共同参画を推進し、女性教員をサポートしています。女性の積極的な応募を歓迎します。

以 上

労働条件等について

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
医歯薬学専攻 医学系講座
生理学分野（現行名称：細胞生理学分野）担当教授の公募

所 属	学術研究院医歯薬学域
契 約 期 間	期間の定めなし
試 用 期 間	試用期間あり（6 か月）
業 務 内 容	教育及び研究
就 業 場 所	大学院医歯薬学総合研究科 （岡山県岡山市北区鹿田町 2－5－1）
就 業 時 間	8：30～17：30（休憩時間 1 時間 15 分含む。） ※ 専門業務型裁量労働制を適用（みなし労働時間：1 日 7 時間 45 分）
休 日	毎週土・日曜日，祝日法による休日，12 月 29 日～翌年の 1 月 3 日
時 間 外 労 働	原則として，無し <詳細は，「 <u>国立大学法人岡山大学職員就業規則</u> 」をご覧ください。>
賃 金	年俸制 給与の額等は，「 <u>国立大学法人岡山大学年俸制適用職員給与規則</u> 」の定めるところにより，本人の学歴，免許・資格，職務経験等を勘案して決定
加 入 保 険	雇用保険，労災保険 国家公務員共済組合の年金・健康保険
募 集 者 の 氏名又は名称	国立大学法人岡山大学

<参考>岡山大学公式ホームページ諸規則集

<http://www.okayama-u.ac.jp/tp/profile/syokisoku.html>

教授候補者応募に必要な書類

1 提出書類

(1) 推薦書 (様式任意)

(2) 履歴書 1部

* 【記入例1】を参考にして、印字で作成してください。

(3) 教育及びその他活動実績一覧 1部

* 該当する項目がある場合は、【記入例2】を参考に記入してください。

(4) 大学院における学生指導状況 1部

* 研究指導教員又は研究指導補助教員として大学院生を指導又は指導補助を行ったことがある場合は、【記入例3】を参考に記入してください。

(5) 教育概要を記載した書類 1部

* 教育に関して2,000字程度の概要(実績並びに人材育成に関する抱負などについて具体的に述べたもの)を提出してください。 ※ 概要の最後には総字数を記入してください。

(6) 研究業績書 1部

* 【記入例4】を参考にして、印字で作成してください。ただし、投稿中の論文で掲載証明のないものは除いてください。

* 論文の「著者名」に記載のある研究グループに研究協力者として参加した論文(「著者名」に応募者本人の氏名の記載がないもの。)については除いてください。

(7) 主要論文20編の別刷(PDFファイル)とそのリスト1部

* 主要論文20編は、原則、原著論文又は総説から選択してください。

① 主要論文20編の別刷(PDFファイル) : ファイル名の頭に「(6)研究業績書」に記載した区分及び一連番号を付したPDFファイルを提出してください[ファイル名への付記例: 原著1, 総説1]。なお、電子化が難しい場合には紙媒体にて提出してください。

② 主要論文20編リスト: 該当論文について、「(6)研究業績書」に記入した内容の他、各論文の被引用数(原則、Scopusを使用するものとし、アクセスできない場合は、使用した他のデータベース名を明記)及びそれぞれどのように関与したかを記載してください。

(8) 研究概要を記載した書類 1部

* 研究に関して2,000字程度の概要(実績の概要と今後の抱負などについて具体的に述べたもの)を提出してください。 ※ 概要の最後には総字数を記入してください。

(9) 科学研究費補助金・助成金・共同研究費・受託研究費等の獲得状況 1部

* 所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費(奨学寄付金は除く。)を含みます。【記入例5】を参考に記入してください。

(10) 特許の申請・取得状況 1部

* 該当する項目のある場合は、【記入例6】を参考に記入してください。

(11) 学位論文の課題名、授与年月日及び授与大学名を記載した書類 1部

注) 上記提出書類((1)推薦書,(7)①主要論文20編の別刷を除く。)は、A4判用紙・縦に横書きで作成してください。

2 書類提出・問合せ先

〒700-8558 岡山市北区鹿田町二丁目5番1号

岡山大学医療系事務部人事労務課 専門幹 宛

注) 表書に「生理学分野担当教授応募書類在中」と朱書きの上、書留にて郵送してください。

また、応募者の連絡先住所(応募書類返送先)、電話番号、メールアドレスをお知らせください。

【問合せ先】電話: 086 (235) 7003 E-mail: mdps7003@adm.okayama-u.ac.jp

3 その他

提出書類のうち、「(7)①主要論文20編の別刷(PDFファイル)」については、電子媒体(USBメモリ、CD-R等)に保存のうえ、提出してください。

また、「(2)履歴書」、「(6)研究業績書」、「(8)科学研究費補助金・助成金等の獲得状況」については紙媒体での提出と併せて、原稿ファイル(Word: 写真・署名不要)を電子媒体(主要論文20編の別刷を保存したUSBメモリ等で可)に保存のうえ、提出してください。

応募書類は、本選考及び採用手続きの目的にのみ使用し、他の目的には一切使用いたしません。また、選考終了後は速やかに返却します。

(記入例1)

履 歴 書

氏名 (ふりがな) : おか やま はな こ
氏名 (英字表記) : Hanako Okayama

性別[記載は任意] : 女

生年月日 (年齢) : 昭和〇〇年〇〇月〇〇日 (〇〇歳)

カラー写真

縦4cm×横3cm
(本人胸上半身)

現 住 所 : 〇〇県〇〇市〇〇町〇ー〇ー〇

勤 務 先 : 〒〇〇〇ー〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇ー〇ー〇
〇〇大学〇〇学部〇〇分野 (電話番号) 〇〇〇ー〇〇〇〇ー〇〇〇〇
(E-mail) 〇〇@〇〇

学 歴

平成 4年 3月 〇〇高等学校卒業

平成 4年 4月 〇〇大学〇学部入学

平成10年 3月 〇〇大学〇学部卒業

平成10年 4月 〇〇大学大学院〇学研究科 (〇〇学専攻) 入学

平成14年 3月 〇〇大学大学院〇学研究科 (〇〇学専攻) 修了

資 格・免 許

平成10年 4月10日 医師免許取得 (第〇〇〇〇〇〇〇号)

平成14年 3月24日 博士 (〇学) (〇〇大学 第〇〇〇〇〇号)

平成16年 9月30日 〇〇学会認定 (専門医) (第〇〇〇〇号)

職 歴

平成14年 4月 〇〇大学医学部研究生 (〇〇講座・分野) 研

平成15年 4月 〇〇大学医学部助手 (〇〇講座・分野) 教・研

平成23年 4月 〇〇大学医学部講師 (〇〇講座・分野) 教・研

平成27年 4月 〇〇大学医学部准教授 (〇〇講座・分野) 教・研 現在に至る。

注) 1. 職歴に空白期間がある場合は必ず明記し、その説明を付記してください。
2. 教育歴に該当する場合は「教」、研究歴に該当する場合は「研」と付記してください。

海 外 渡 航 歴

平12.9. 1～平14.8.21 〇〇国〇〇大学〇〇研究室 (客員研究員) へ研修渡航

平16.5.15～平17.3.14 文部科学省在外研究員として〇〇国〇〇大学〇〇研究室
(客員助教授) へ出張

注) 2か月以上のものとし、必ず、受入れ先の国名、機関名、身分 (職名) を明記してください。

学会その他における活動等

〇〇学会, 〇〇学会, 〇〇学会, 〇〇学会

平16.4～平20.3 〇〇学会評議員

平16.4～現在 〇〇学会評議員

平16.4～現在 〇〇学会理事

平19.4～平24.3 〇〇省〇〇審議会委員

平22.4～平27.3 〇〇県〇〇審議会委員

賞・罰・処分歴等 : 平成14年4月 〇〇賞受賞
罰・処分歴なし

注) 所属する学会名を記入し、役員については、その期間を付記してください。

注) 「賞」「罰」「処分歴」(※)とも有無を明記ください。有る場合は具体的内容を、無い場合は「賞・罰・処分歴なし」等と記載してください。

※ 刑事罰のみでなく、過去に学生・生徒・児童・幼児に対するセクシュアルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分若しくは分限処分を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を必ず記入してください。

上記のとおり相違ありません。

今回提出する履歴書等の記載内容について相違ないことを申し立てます。

なお、万一、経歴詐称があった場合は採用取り消しや懲戒解雇になることがあるほか、採用後記載内容に誤りがあることが判明した場合は採用日に遡及して給与を返納しなければならないことがあることについて異存ありません。

令和 年 月 日

氏 名 (自筆)

(記入例2)

教育及びその他活動実績一覧

氏 名

1. 教育活動実績の一覧

項 目	期 間 等	備 考
1) 授業担当等		
① ○○大学○○学部 「○○○○学」(講義○時間, 実習○時間)	○○年○○月～現在	
② ○○大学大学院医学研究科 「○○学演習」 ○単位 「○○○○学」 ○単位	○○年○○月～現在 ○○年○○月～現在	
2) 他大学・他学部等の非常勤講師		
①○○大学 ○○学部 「○○○○学」年間○時間の集中講義	○○年○○月～現在	
3) 他大学の特別講義		
①○○大学○○学部○○講座 特別講義「○○について」	○○年○○月	
4) 委員等		
○○大学奨学生等選考委員会委員	○○年○○月～○○年○○月	
○○大学○○学部カリキュラム委員会委員	○○年○○月～○○年○○月	
○○大学○○学部アカデミックアドバイザー等	○○年○○月～○○年○○月	
5) 初期研修・後期研修		
研修指導講習会受講の有無	○○年	
6) 国際交流／学生・研修医支援		
○○国留学生○○研修受入れ(○人)	○○年○○月～○○年○○月	
研修医指導責任者	○○年○○月～○○年○○月	
7) 学生の課外活動指導		
○○大学学友会 ○○部顧問	○○年○○月～現在	

注1) 教育実績には、これまで担当した講義・実習・演習・セミナー等のほか、カリキュラム策定委員・入試対策委員等の実績を、記入例に基づき記入して下さい。

注2) 項目ごとの記載数が多い場合は、内容が分かる簡単な説明を加えて、項目ごとに○○外○件というようにまとめて記載して下さい。

注3) 備考欄には大学及び大学院等での講義・実習等において、学生による教員個人に対する評価の概略等関連事項があれば記入して下さい。

2. その他活動実績 (付記すべきものがあれば記載してください。)

(記入例3)

大学院における学生指導状況

氏 名 _____

研究指導教員又は研究指導補助教員として指導又は指導補助を行った学生について記載

- ・博士課程，修士課程の別に分類して記載すること。
- ・記載内容：学位取得者氏名，指導大学・課程（修了年月），研究題目，指導における役割等
 - ※ 学位論文が英語論文になっている場合には，当該論文の詳細（全著者名（掲載されている順番で），論文名，雑誌名，発表年（西暦），巻，初頁-終頁）を記入すること。
 - ※ テーシスの場合には，テーシスと明記すること。

<例> ※ 記入例を削除の上，作成してください。

- 1 岡大太郎，〇〇大学大学院〇〇科博士課程（2020年3月修了），「×××における△△に関する検討」，研究指導教員として指導
Okadai T, Okayama M, Kurashiki D. Examination of △△ in ×××. Okayama Journal of Cell Biology. 2020; 18: 100-105.

<博士課程>

<修士課程>

注) 不足の場合はページを追加してください。

(記入例4)

研究業績書

令和 年 月 日

氏 名 _____

<学術論文> ※ 注) 及び記載例を削除の上、作成してください。

注) 次の点に注意して、記入してください。

1. h-index を欧文論文の先頭に朱書きしてください。

※ h-index は、原則、Scopus を使用するものとし、アクセスできない場合は使用した他のデータベース名を明記すること。

2. 原著論文、総説、症例報告及びその他に区分の上、欧文、和文に分けて、それぞれ**発表年順(最近のものから)**に一連番号を付し、次のとおり記入すること。

・番号(一連番号)・著者名(印刷順に全員連記し、本人のところにアンダーラインをひく)・
題目・発表誌・発行年(西暦)；巻：初頁－終頁

3. **Top10%論文**の場合には、上記の記載と併せて、**【Top10%】**と記入すること。

4. **corresponding author** である場合には、一連番号の右側に**赤***を付すこと。

5. **国際共著論文**(異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文)の場合には、一連番号に**アンダーライン**を引くこと。

6. 主要論文20編については、一連番号に**赤○印**を付すこと。

7. 欧文論文掲載誌にImpact Factor (IF, Clarivate 社, 2025 年版) が付されている場合には併せて記入すること(付されていない場合には、「－」と記入)。また、**Q1 ジャーナル**の場合は、該当論文の最後(IFの後ろ)に「Q1」と記入すること。

(欧文記載例)

- ①*Shikata E, Tushima K, Yamamoto M, Suzuki A, Okayama H. Evidence for the multistep nature of in vitro human epithelial cell carcinogenesis. Cancer Res. 2017; 50:5653-5657. **【Top10%】** IF: 9.122 Q1
- ② Okayama H, Fujita J, Aaronson SA. Neoplastic conversion of human epidermal keratinocytes by adenovirus 12-SV40 virus and chemical carcinogens. Science. 2016; 232:385-388. IF: —

(和文記載例)

- 1 ○○○○, 岡山花子, ○○○○. ○○に関する研究. ○○学会雑誌, 1998; 3:189-211.

h-index: ● (Scopus)

【原著論文】 (欧文)

【原著論文】 (和文)

【総 説】 (欧文)

【総 説】 (和文)

【症例報告】 (欧文)

【症例報告】 (和文)

<著 書> ※ 注) 及び記載例を削除の上、作成してください。

注) 次の点に注意して、記入してください。

1. 欧文、和文に分けて、それぞれ**発表年順（最近のものから）**に一連番号を付し、次のとおり記入すること。
 - ・番号（一連番号）、著者名（印刷順に全員連記し、本人のところにアンダーラインをひく。）、題目（共著又は分担の場合は、その区分を括弧書きで付記）、頁数、発行所、発行年（西暦）

(欧文記載例)

- 1 Okayama H. Drugs and foods from little-known plants. Harvard Univ. Press, Cambridge, MA, 2011
- 2 Okayama H., Shikata E, Tushima K. Views of cancer researchers on environmental mutagens. In “Environmental Mutagens and Carcinogens”, ed. Sugimura T, Kondo S, Takebe H., pp. 3-20, University of Tokyo Press, Tokyo, 2008

(和文記載例)

- 1 岡山花子：〇〇に関する研究，〇〇書房，東京，2011
- 2 〇〇〇〇，〇〇〇〇，岡山花子：〇〇〇〇〇〇に関する研究（分担），「生体時計」，〇〇〇〇，〇〇〇〇編，PP. 15-25，〇〇出版，東京，2009

【著 書】（欧文）

【著 書】（和文）

<その他> ※ 注) 及び記載例を削除の上、作成してください。

注) 次の点に注意して、記入してください。

1. 国際及び国内学会の特別講演及びシンポジウム等（一般演題は除く。）について、それぞれ**発表年順（最近のものから）**に一連番号を付し、次のとおり記入すること。
 - ・番号（一連番号）、発表者（本人のところにアンダーラインを引く。）、題目、学会、開催地、発表年（西暦）

(国際学会記載例)

- 1 Okayama H., Special lecture, Analysis of methylation in the c-myc gene, Symposium at the International Meeting of Cancer Prevention, Bangkok, Thai, 2012

(国内学会記載例)

- 1 岡山花子：特別講演，癌遺伝子，第〇回日本癌学会シンポジウム，東京，〇〇年

【国際学会】

【国内学会】

(記入例5)

科学研究費補助金・助成金・共同研究費・受託研究費等の獲得状況

氏 名

補助金・助成金等（奨学寄付金は除く。）

- ・役割（代表・分担の別）の別に分類して、**開始年度の順（古いものから）**に記載すること。
- ・記載内容：研究期間（年度）、資金制度・研究費名（配分機関等名）、研究課題名、**（分担の場合は、研究代表者氏名・所属、分担研究者（人数・役割分担）**）、研究費（期間の受領額（間接経費を含む）：千円**（分担の場合は、研究費総額も記入）**）

<代 表> ※ 記入例を削除の上、作成してください。

1. H26～H28, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 A（一般）、〇〇に関する〇〇的研究, 48,000 千円
2. H29～R1, 日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究 C（一般）、〇〇に関する研究, 3,000 千円
3. R2～R4, 〇〇〇株式会社・共同研究費、〇〇の開発, 4,000 千円

<分担>個人配分有り

1. H25～H27, 〇〇〇医学振興助成金（〇〇財団）、〇〇に関する〇〇研究（代表：瀬戸次郎・〇〇大学）、分担研究者（人数、役割分担：〇〇に関する解析）、研究費総額 5,000 千円、分担額 2,000 千円

<分担>個人配分無し

1. H23～H25, 〇〇〇医学振興助成金（〇〇財団）、〇〇に関する〇〇研究（代表：山陽花子・〇〇大学）、分担研究者（人数、役割分担：〇〇に関する解析）、研究費総額 5,000 千円

<直近5年間の科研費（代表に限る）の応募状況と不採択時の評価>

※ 採択された科研費の詳細は記載不要

1. R3：基盤研究 C（一般）、〇〇に関する研究、評価区分：不明
2. R4：採択
3. R5：応募なし
4. R6：基盤研究 B（一般）、〇〇に関する研究、評価区分：B
5. R7：基盤研究 B（一般）、〇〇に関する研究、評価区分：A

注）不足の場合はページを追加してください。

(記入例6)

特許の申請・取得状況

氏 名 _____

※ 以下の記入例等を削除の上、作成してください。

※ 該当がない場合には、「該当なし」と記入の上、提出してください。

(記入例)

【特許取得】

- [illegible]

【特許申請】

- [illegible]